

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)
【単独・連携事業】

市町名	足利市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
1	歩き愛です事業	総事業費	1,313,647	1,363,470	1,139,538	914,400	0	4,731,055
		うち市町支出額	243,971	299,470	299,538	300,000	0	1,142,979
		うち県交付金	0	0	150,000	150,000	0	300,000
2	観光ロゲイニング事業	総事業費			476,000	448,515	462,900	1,387,415
		うち市町支出額			295,728	300,000	300,000	895,728
		うち県交付金			0	150,000	150,000	300,000
3	足利秋まつり事業	総事業費				6,797,810	0	6,797,810
		うち市町支出額				3,000,000	0	3,000,000
		うち県交付金				1,500,000	0	1,500,000
4	着物によるまち歩き推進事業	総事業費				502,443	400,188	902,631
		うち市町支出額				500,000	400,000	900,000
		うち県交付金				250,000	200,000	450,000
5	足利灯り物語創出事業	総事業費				3,160,251	5,049,826	8,210,077
		うち市町支出額				3,000,000	5,000,000	8,000,000
		うち県交付金				1,500,000	1,500,000	3,000,000
6	あしかが美食まつり	総事業費				1,880,826	1,849,943	3,730,769
		うち市町支出額				1,000,000	1,000,000	2,000,000
		うち県交付金				500,000	500,000	1,000,000
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	1,313,647	1,363,470	1,615,538	13,704,245	7,762,857	25,759,757
		うち市町支出額	243,971	299,470	595,266	8,100,000	6,700,000	15,938,707
		うち県交付金	0	0	150,000	4,050,000	2,350,000	6,550,000

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	歩き愛です事業
事業主体の名称	足利歩き愛です実行委員会
代表者の名称	委員長 西村晃
事業主体の所在	〒326-0808 足利市本城三丁目2022番地1(足利市健康増進課)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 歩いて健幸になる、歩きたくなる楽しいまちをつくるために推進しているスマートウェルネスあしかがの取り組みの一環として、足利歩き愛ですを実施するにあたり、その円滑な運営と官民一体となった新しいイベント創出のため設置。 ・設立年月日: 平成28年10月24日 ・構成員等: GS世代研究会、足利商工会議所、足利市観光協会、足利商業連合会、足利市坂西商工会、足利市
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・栃木県は人口1人あたりの乗用車保有台数が全国2位であり、足利では近所のお店などにも車で出かける人が多い。 ・国の調査などでは、健康づくりのために行動する人と行動しない人が3:7の割合という結果が出ている。 ・少子高齢化・人口減少が急速に進む中、足利市では高齢になっても地域で元気に暮らせる社会を実現するためにも「健幸(けんこう)=健康で幸せ(身体面の健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、安心安全で豊かな生活を送れること)」づくりである「スマートウェルネスシティ構想」を推進している。 ・スマートウェルネスシティ構想の実現のため、まちのにぎわいや歩きたくなる楽しいまちを創出し、多くの人にまちなかを回遊してもらう必要がある。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・運動のきっかけづくりから継続へとつなげる(専用歩数計を使用し1万歩を目標に歩くイベント) ・市内店舗の協力による商業・サービスの活性化、まちのにぎわい創出(専用歩数計提示による優待店舗のサービス) ・観光誘客(歩き愛ですは共通の専用歩数計を使用し全国で開催されている 専用歩数計持参者は参加料無料)
事業概要	<p>【令和2年度】 足利歩き愛ですの開催 日時: 2021年1月17日(日) 受付開始: 午前9時 受付後順次スタート 最終ゴール: 午後2時 場所: 大日苑 饅阿寺 西側イベント広場(スタート・ゴール会場) 足利七福神巡りウォーキングコース 約8km 内容: 専用歩数計を使用し1万歩を目標に足利歴史クイズを解きながら歩くイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加料として専用の歩数計を1,000円で販売(専用歩数計持参者は参加料無料) ・11か所のチェックポイントで足利歴史クイズを出題 1問正解するとボーナス歩数1,000歩 ・スタート地点では協力団体によるブース出展(減塩アドバイス、準備体操等) ・ゴール後に協賛企業(54社)からの豪華完歩賞を贈呈 ・歩数計の歩数プラス歴史クイズ正解歩数が20,000歩達成した方は、豪華景品の抽選くじに参加 ・市内優待店舗(42店舗)は専用歩数計の提示により様々なサービス提供の協力 ・健幸(けんこう)マイレージスタンプ対象事業として開催 ・参加者約1,500人 <p>※新型コロナウイルス感染拡大のため、事業実施困難であることから、中止を決定。</p> <p>【令和3年度】 コースや時期の変更を検討しながら継続的に実施していき、催事規模を拡大する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】健幸マイレージ参加者数(令和2年度目標値) 【KPI】H28 4,000人 → R2 13,000人【R1実績 2,162人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	足利歩き愛ですの開催	足利歩き愛ですの開催	足利歩き愛ですの開催		足利歩き愛ですの開催
事業費	1,139,538	914,400	0	2,053,938	1,060,000
市町支出金 (ソフト事業分)	299,538	300,000	0	599,538	300,000
うち県交付金	150,000	150,000	0	300,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	840,000	614,400	0	1,454,400	760,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	健康増進課スマートウェルネスシティ担当
担当者名	松島 鋭
電話	0284-22-4512
FAX	0284-21-7050
E-mail	wellness@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	歩き愛です事業	
対象年度	2	年度

1 収入の部

科目	予算額	備考
市支出金	0	
協賛金等	0	
諸収入	0	参加料(歩数計代) 1,000円×600人 ※専用歩数計持参者は参加費無料(700人)
計	0	

2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	0	0	0	0	歩数計、ビニール袋、石灰、看板代ほか
食料費	0	0	0	0	従事スタッフ昼食代
印刷製本費	0	0	0	0	ポスター(B2-200枚) チラシ(A4-25,600枚)
通信運搬費	0	0	0	0	チラシ、ポスター、歩数計郵送代
手数料	0	0	0	0	振込手数料
使用料及び賃借料	0	0	0	0	機材レンタル代ほか
				0	
				0	
				0	
				0	
計	0	0	0	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	観光ロゲイニング事業
事業主体の名称	足利観光ロゲイニング実行委員会
代表者の名称	委員長 川連正司
事業主体の所在	〒326-0808 足利市本城三丁目2022番地1(足利市健康増進課)
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 歩いて健幸になる、歩きたくなる楽しいまちをつくるために推進しているスマートウェルネスあしかがの取り組みの一環として、足利観光ロゲイニングを実施するにあたり、その円滑な運営と官民一体となった新しいイベント創出のため設置。</p> <p>・設立年月日: 平成30年6月6日</p> <p>・構成員等: 足利市観光協会、足利商工会議所、足利商業連合会、足利市坂西商工会、(一社)ポジティブスポーツ振興協会、足利市</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>・少子高齢化・人口減少が急速に進む中、足利市では高齢になっても地域で元気に暮らせる社会を実現するためにも「健幸(けんこう)=健康で幸せ(身体面の健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、安心安全で豊かな生活を送れること)」づくりである「スマートウェルネスシティ構想」を推進している。</p> <p>・スマートウェルネスシティ構想の実現のため、まちのにぎわいや歩きたくなる楽しいまちを創出し、多くの人にまちなかを回遊してもらう必要がある。</p> <p>・ウォーキングイベントへの参加が少ない若年層が楽しめるイベントを開催する必要がある。</p>
事業目的	<p>・家族やグループで、観光・スポーツ・健康増進など様々なニーズに合わせて楽しみながら歩いてもらう。</p> <p>・飲食店などをポイントとすることで商業活性化にも繋げる。</p> <p>・多くの人に足利の素敵な場所を知ってもらう。</p>
事業概要	<p>【令和2年度】 足利観光ロゲイニングの開催 日時: 2020年11月7日(土) 午前10時受付 11時スタート 最終ゴール午後3時15分 場所: 市内チェックポイント約40か所 (スタート・ゴール会場 足利市民会館 大ホール・ピロティ) 内容: 「観光ロゲイニング」は、地図を見ながら目的のポイントを探し、写真を撮影して回るイベント。 ・各ポイントには異なった得点が設定されている。 ・当日、スタート直前に配られる地図には、スタート地点を中心に四方八方に点在した約40か所のチェックポイントが示される。 ・制限時間内により多くのポイントを回るため各チームで作戦を練ってからスタートし、得点の多いチームには3位まで表彰。(今回、ファミリーの部は参加者が多かったため、10位まで表彰を実施) ・知力・体力などチーム力が試されるイベントである。 ・観光気分ですっきり歩きたいチームのためのウォークの部(ランニング不可)、家族で参加できるファミリーの部、一般の部(ランニング可)を設定。 ・参加者 約230名(新型コロナ感染症の感染状況を考慮し、参加者を栃木県民に限定して開催) ・参加費 1人 1,000円(中学生以下は無料) ※足利市子ども夢基金の賛同者については1人 1,100円 足利市子ども夢基金とは: 足利市は「未来を担う夢を持った子どもたちの健やかな成長」を願い、基金を設置します。足利観光ロゲイニングの参加者で、この趣旨に賛同いただいた方は、参加料より100円を基金に寄付します。 ・今回テーマを『足利氏ゆかりの寺社』として市内の関係寺社を組み込んで実施。(樺崎寺跡(庭園を復元)など) 【令和3年度】 チェックポイントや時期の変更を検討しながら継続的に実施していき、催事規模を拡大する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】健幸マイレージ参加者数(令和2年度目標値) 【KPI】H28 4,000人 → R2 13,000人【R1実績 2,162人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	足利観光ロゲイニング の開催	足利観光ロゲイニング の開催	足利観光ロゲイニング の開催		足利観光ロゲイニング の開催
事業費	476,000	448,515	462,900	1,387,415	460,000
市町支出金 (ソフト事業分)	295,728	300,000	300,000	895,728	300,000
うち県交付金	0	150,000	150,000	300,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	180,272	148,515	162,900	491,687	160,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	健康増進課スマートウェルネスシティ担当
担当者名	田部井 俊夫
電話	0284-22-4512
FAX	0284-21-7050
E-mail	wellness@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	観光ロゲイニング事業	
対象年度	2	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	300,000	
参加料	156,000	参加料 1000円×156名(大人1000円、小中学生無料)
諸収入	6,900	足利市子ども夢基金(@100×69名)
計	462,900	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
消耗品費	165,800	109,080	54,540	56,720	参加賞代、景品代、消耗品代
印刷製本費	89,650	58,980	29,490	30,670	ポスター(B2 100枚) チラシ(A4 12,000枚)
手数料	550	360	180	190	振込手数料
委託料	200,000	131,580	65,790	68,420	(一・社)ポジティブスポーツ振興協会委託料
寄附金	6,900	0	0	6,900	足利市子ども夢基金に寄附
				0	
				0	
計	462,900	300,000	150,000	162,900	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	足利秋まつり
事業主体の名称	足利秋まつり実行委員会
代表者の名称	会長 相馬 稔
事業主体の所在	〒326-8502 足利市通三丁目2757
事業主体の概要	<p>・団体の目的:秋の行楽シーズンに、郊外観光施設と中心市街地への観光誘客と滞留時間延長を図るため、事業を展開する。</p> <p>・設立年月日:平成21年10月13日</p> <p>・構成員等:足利市、足利商工会議所、足利市観光協会、ほか</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>地域の特徴・現状・課題等(事業の内容と関連するもの)を記載</p> <p>・本市では、第7次足利市総合計画の戦略プロジェクトに、「まちの魅力発信プロジェクト」を掲げ、歴史・文化・自然・風土などの豊かな地域資源を磨き上げ、まちの魅力を更に高め、地域のおもてなしと地域の特性を活かしながらにぎわいと魅力あるまちづくりに取り組んでおり、足利の秋まつりでは、これまで複数のイベントを約1か月間開催し、足利の魅力を内外に発信している。</p> <p>・誘客促進のために、「グルメフェスタ」「足利学校さままつり」(事務局:足利市)や「三大陶器祭り」(事務局:足利商工会議所)等を同日に開催し、それぞれのイベントの回遊性を向上させるため、市内巡回バスの「ぐるワンバス」(事務局:足利市観光協会)を運行していますが、近年、集客力の低下がみられるようになった。</p> <p>・長期間観光客を取り込み、地域活性化に資するため、同日に会場を分散して開催していた秋のイベントを見直し、足利の魅力を発信する機会を増やすことに取り組んでいる。</p>
事業目的	<p>事業の目的を簡潔に記載</p> <p>・イベントを通じ、歴史と文化が色濃く残り、紅葉で色づく足利市の魅力を発信する。</p> <p>・これまでのイベントを集約し、効果的に配置することで、長期間の観光誘客を図ります。</p>
事業概要	<p>当該年度の実施内容、翌年度以降の取組等を簡潔に記載</p> <p>【平成31(2019)年度実績】</p> <p>・これまでの秋まつりは、同日に複数のイベントを開催しており、集客力の低下がみられるようになっていたため、長期間、秋の観光客を取り込む内容に改めるべく、イベントの見直しを実施した。</p> <p><主な開催イベント></p> <p>・陶器・クラフトアートまつり:11月22日(金)~24日(日)@栗田美術館 ⇒広大な敷地を活かし、「陶器」「食」「クラフト」など様々な人が楽しめるイベントとして開催。足利で生産されたそば粉を使ったそばの提供も行い、足利の歴史と文化も感じられる内容にした。</p> <p>・足利学校さままつり:11月23日(土)~24日(日)@足利学校 ⇒伝統行事や小学生論語かるた大会など「歴史」や「文化」に関するイベントを市中心部の足利学校を拠点として開催することによって、まちなかの賑わいづくりを行った。</p> <p>【令和2(2020)年内容】</p> <p>○開催趣旨</p> <p>①昨年度の課題を洗い出し、実施内容の修正・見直しを行い、紅葉で色づく秋の足利に複数回足を運んでもらえる企画にする。</p> <p>②開催日を分散させることでイベントの集客力を強化する。</p> <p>③ホームページやSNS等を活用し、足利の魅力を多方面に発信することで、市外からの観光誘客につなげる。</p> <p>④継続した事業実施を可能とするため、イスやテーブルなど必要備品の購入を行う。</p> <p>○2020開催内容及び時期</p> <p>①「史跡 足利学校」周辺イベント(11月開催予定)</p> <p>・歴史・文化的な豊かな行事を中心に開催。</p> <p>・日本遺産「史跡 足利学校」を中心とした石だみエリアへの観光誘客を図る。</p> <p>・鏝阿寺を含めたエリアの回遊性を高める仕掛けを行う。</p> <p>・複数回開催することで、足利学校、鏝阿寺を含む石畳通りに長期間賑わいを持たせる。</p> <p>②市東部に位置し、世界屈指の陶磁美術館である栗田美術館敷地内で開催(11月開催予定)</p> <p>・広大な敷地を生かし、「陶器まつり」「食」「クラフト」など様々な人が楽しめるイベントを開催する。(足利で生産されたそば粉を使ったそばの提供など、足利の歴史と文化を活かせる内容とする)</p> <p>・近隣のあしががらフラワーパークでは、大勢の来場者で賑わうイルミネーションを開催している。このイベントとイルミネーションの相乗効果で、長時間足利市に滞在してもらえるような魅力的な企画とする。</p> <p>※新型コロナウイルス感染拡大のため、事業実施困難であることから、中止が決定。</p> <p>【令和3(2021)年度】</p> <p>・令和2年度の結果を踏まえて、適宜実施内容の見直しを行い、地元で根付く事業にする。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】観光入込客数(R2年度目標値)</p> <p>【KPI】H26:355万人 → R2:500万人【R1実績 486万人】</p> <p>【KPI達成状況】H27:394万人、H28:411万人、H29:475万人、H30:507万人、R1:486万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①複数回魅力を発信するイベントを開催	①複数回魅力を発信するイベントを開催		①複数回魅力を発信するイベントを開催
事業費	6,797,810	0	6,797,810	6,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	3,000,000	0	3,000,000	3,000,000
うち県交付金	1,500,000	0	1,500,000	
市町支出金 (ハード事業分)			0	
うち県交付金			0	
その他自主財源等	3,797,810		3,797,810	3,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光振興課観光・コンベンション担当
担当者名	石川 維
電話	0284-20-2165
FAX	0284-21-0643
E-mail	kankou@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	足利秋まつり	
対象年度	2	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	0	
足利商工会議所支出金	0	
計	0	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
備品購入費	0	0	0	0	イス、テーブルなど
印刷製本費	0	0	0	0	チラシ、ポスターなど
使用料及び賃借料	0	0	0	0	会場借り上げ料、備品レンタル(テント)など
委託料	0	0	0	0	警備員
工事請負費	0	0	0	0	給排水、電気工事など
消耗品費	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	着物によるまち歩き推進事業
事業主体の名称	一般社団法人足利市観光協会
代表者の名称	代表理事 早川慶治郎
事業主体の所在	〒326-0053 足利市伊勢町3丁目6-4
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 足利市内における観光事業の振興を図り、産業・文化の発展に寄与することを目的とする。 ・設立年月日: 平成26年10月1日 ・構成員等: 観光振興関係団体
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の近代化産業である織物産業の原点ともいえる足利銘仙は、大正から昭和にかけて全国的に普及した足利を代表する歴史資源である。 ・現在では足利銘仙の生産は行われておらず、貴重な伝統文化の衰退が危惧される状況にあることから、現存する足利銘仙の着物や生地を活用することにより、足利の誇る伝統文化を未来に向けて継承していく方策を検討する必要がある。 ・現在は、足利まちなか遊学館での着物着付体験の実施、茨城県結城市、栃木県益子町などのイベントで足利銘仙の着物を貸出し、着付体験や展示をしていただき、足利銘仙のPRをしている。 ・着物姿の観光客がまちなかを歩くことにより、足利の街並みの魅力を向上させるとともに、国内外を問わず観光ニーズの高い着物や甲冑の着付け支援を継続していく必要がある。 ・着付体験の参加者が常連化しているため、若者などの新規客や体験者が増加しつつある外国人を取り込む必要があり、そのために、ニーズに合わせた着物(大きめなサイズなど)や小物を購入し、着物着付体験の環境を整備する必要がある。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・着物着付体験の環境を整備していくことで、さらに体験者を増加させ、足利の街並みの魅力を向上させる。 ・館内に足利銘仙の着物や関連の資料を展示することで、観光客に足利銘仙をPRする。
事業概要	<p>【令和2(2020)年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①着物着付体験の環境整備 場所: 足利まちなか遊学館 内容: 着物着付体験にて使用する銘仙着物、ポリエステル着物、浴衣、下駄などの備品の購入し、環境整備。 ②着物・甲冑着付体験 場所: 足利まちなか遊学館 内容: 足利銘仙や浴衣などの着物・甲冑の着付体験。(年末年始以外受付可能) ※団体の外国人観光客も対応 ③銘仙の展示 場所: 足利まちなか遊学館1階のショーケース 内容: 足利銘仙を展示
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】観光入込客数(R2年度目標値) 【KPI】H26:355万人 → R2:500万人【R1実績 486万人】 【KPI達成状況】H27:394万人、H28:411万人、H29:475万人、H30:507万人、R1:486万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①着物着付体験の環境整備 ②着物・甲冑着付体験 ③着物展示	①着物着付体験の環境整備 ②着物・甲冑着付体験 ③着物展示		①着物購入 ②着物展示
事業費	502,443	400,188	902,631	360,000
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000	400,000	900,000	360,000
うち県交付金	250,000	200,000	450,000	
市町支出金 (ハード事業分)			0	
うち県交付金			0	
その他自主財源等	2,443	188	0	

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光振興課観光・コンベンション担当
担当者名	武井 実里
電話	0284-20-2165
FAX	0284-21-0643
E-mail	kankou@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	着物によるまち歩き推進事業	
対象年度	2	年度

1 収入の部

科目	予算額	備考
市支出金	400,000	
足利市観光協会支出金	188	
計	400,188	

2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	293,368	293,180	146,590	188	浴衣、草履、足袋、羽織、雪駄、小物購入
修繕費	0	0	0	0	
手数料	0	0	0	0	
備品費	106,820	106,820	53,410	0	トルソー、マネキン和装ボディ
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	400,188	400,000	200,000	188	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	足利灯り物語創出事業
事業主体の名称	足利灯りのある街づくり実行委員会
代表者の名称	委員長 早川 慶治郎
事業主体の所在	〒326-0053 足利市伊勢町3丁目6-4
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 足利市内における観光事業の振興を図り、産業・文化の発展に寄与することを目的とする。 ・設立年月日: 平成29年1月24日 ・構成員等: 観光及び商工振興関係団体
当該事業に係る地域の現状と課題	足利市内には魅力的な観光資源があるものの、首都圏から近く、アクセスしやすいため、日帰りの観光客が多く、宿泊や飲食を伴っていないのが現状である。市内には、「あしかがフラワーパーク」のイルミネーションや足利織姫神社の夜景など夜景観光資源も多く、日常的な風景も工夫をすれば非日常的な観光資源になり得る。現在ある夜景観光資源や潜在的な資源を活用し、市内での滞在型観光をいかに進めるかが課題である。
事業目的	足利市で楽しめる夜景や夜型イベントの全てを財産として、通年で国内外からの観光客や市民に楽しんでいただける夜景商品を開発するとともに、既存の夜景や夜型イベントを非日常的に、集客装置となる観光資源へと磨き上げ、夜間に魅力的なまちづくりを行っている都市空間としてのイメージを築き上げ、来訪者の宿泊や飲食などの消費行動を促進させ、中心市街地及び市内全域の経済活性化に寄与することを目的とする。
事業概要	<p>【令和2年度】</p> <p>足利灯りのある街づくりプロジェクトとして、灯りのイベントを集約し、灯りと足利市の地域資源である歴史ある文化財や街並みを楽しめる、足利ならではのイベントを企画し実施</p> <p>①足利灯り物語—歴史のまち足利文化財・黄葉ライトアップ—</p> <p>②その他 関連イベント</p> <p>・夜景関連団体との連携によるプロモーション活動</p> <p>【令和3年度】</p> <p>継続的な実施により、滞在型観光の推進を図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】観光入込客数(R2年度目標値)</p> <p>【KPI】H26:355万人 → R2:500万人【R1実績 486万人】</p> <p>【KPI達成状況】H27:394万人、H28:411万人、H29:475万人、H30:507万人、R1:486万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和元年度	令和元年度	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容		(1)「本物の出会い 栃木」アフターデスティネーションキャンペーン中の特別企画 (2)足利灯りのある街づくりイベントの創出 ①夜の足利文化財一斉公開 ②足利冬物語 ③ 足利ほろ酔いウォーク ④ その他 関連イベント ・「鏝阿寺お堀ライトアップ」の支援	足利灯りのある街づくりイベント実施 ①足利灯り物語—歴史のまち足利文化財・黄葉ライトアップ— ②その他 関連イベント ・夜景関連団体との連携によるプロモーション活動		足利灯りのある街づくりイベント実施 ①鏝阿寺・史跡足利学校ライトアップ ②秋の鏝阿寺—黄葉・紅葉まつり— ③足利冬物語 ④足利ほろ酔いウォーク ⑤その他 関連イベント ・「鏝阿寺お堀ライトアップ」の支援
事業費		3,160,251	5,049,826	8,210,077	5,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)		3,000,000	5,000,000	8,000,000	5,000,000
うち県交付金		1,500,000	1,500,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	160,251	49,826	210,077	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光振興課観光・コンベンション担当
担当者名	石川 維
電話	0284-20-2165
FAX	0284-21-0643
E-mail	kankou@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	足利灯り物語創出事業	
対象年度	2	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	5,000,000	
雑収入	49,826	
計	5,049,826	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	16,000	16,000	0	0	イベント協力者への謝礼
旅費	0	0	0	0	
需用費・消耗品費	234,887	185,061	0	49,826	イベント消耗品等
需用費・印刷製本費	451,660	451,660	0	0	イベントポスター・チラシ・商品券取扱店舗マップ作成費
需用費・光熱水費	19,800	19,800	0	0	お堀桜ライトアップ電気料
需用費・修繕料	219,780	219,780	0	0	銘仙行灯修繕
役務費・通信運搬費	410,148	410,148	0	0	イベント物品送料・チラシ配布送料
備品購入費	151,349	151,349		0	
委託料	2,936,560	2,936,560	1,270,000	0	ライトアップイベント委託
使用料及び賃借料	32,912	32,912	0	0	コードリールレンタル料
工事請負費	465,850	465,850	230,000	0	足利織姫神社配線工事、LANケーブル交換
負担金、補助及び交付金	110,880	110,880	0	0	日本百名月負担金110,880円
計	5,049,826	5,000,000	1,500,000	49,826	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	あしかが「美」食まつり
事業主体の名称	あしかが「美」食まつり実行委員会
代表者の名称	実行委員長 早川 慶治郎
事業主体の所在	〒326-0053 足利市伊勢町3丁目6-4
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 足利市の農産物ブランドである「あしかが美人®」を使った新たな食のブランド化を図り、市民及び観光客が「あしかが美人®」の魅力を知る機会を創出することで、地産地消の推進と観光誘客の促進を図り、地域活性化につなげる。 ・設立年月日: 平成29(2017)年9月1日 ・構成員等: 足利市、足利市農業協同組合、足利商工会議所、足利市坂西商工会、足利市観光協会
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・足利市は、「史跡 足利学校」や「国宝 鏝阿寺」をはじめ、歴史的な観光資源が中心市街地に集中しており、そうした中心市街地に多くの観光客が訪れる一方で、足利市全体の地域活性化及びにぎわい創出のために観光客を中心市街地から市内全域へ周遊させる仕掛けが機能していない現状である。 ・「観光振興」とご当地での「食」が密接に関わる中、観光資源としての「あしかが美人®」のPR強化が課題であり、「あしかが美人®」と地域との結びつき、観光客への周知を推進する仕組みづくりをする必要がある。 ・足利市を訪れる観光客の多くは日帰り客中心であり、観光消費額のより大きい宿泊客誘致及び消費機会の創出に向けた取組が課題である。
事業目的	農産物ブランド「あしかが美人®」(トマト、いちご、アスパラガス、にんじん、きゅうり、ナス、大根)を食材として使用したメニューや加工品等を市内店舗や宿泊施設等で提供し、本市ならではの食のブランドとしてメニューの定着を図るとともに、引き続き地産地消の推進と観光誘客の促進を図り、地域活性化につなげる。
事業概要	<p>【令和2年度】 [事業概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ野菜(食材)を決定。 ・飲食店及び宿泊施設を対象に参加店の募集 →各参加店にて特別メニューを考案 ・チラシ、ポスター、のぼり旗、ホームページにて広報 →「あしかが美人®」生産者や参加店へのインタビュー記事など、ストーリー性を持つ広告宣伝を実施 ・あしかが「美」食まつり開催 →期間限定で特別メニューの提供開始。期間中も各種媒体にて広報を実施。 →更なる店舗回遊を促進するため、スタンプラリーを実施 ⇒中心市街地のみならず、市民及び観光客による市内全域でのにぎわいを創出 <p>【令和3年度】 継続的な実施により、催事規模を拡大する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】観光入込客数(R2年度目標値) 【KPI】H26:355万人 → R2:500万人【R1実績 486万人】 【KPI達成状況】H27:394万人、H28:411万人、H29:475万人、H30:507万人、R1:486万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容		①あしかが「美」食まつりの参加店募集 ②あしかが「美」食まつりの広告宣伝 ③あしかが「美」食まつりの実施	①あしかが「美」食まつりの参加店募集 ②あしかが「美」食まつりの広告宣伝 ③あしかが「美」食まつりの実施		①あしかが「美」食まつりの参加店募集 ②あしかが「美」食まつりの広告宣伝 ③あしかが「美」食まつりの実施
事業費		1,880,826	1,849,943	3,730,769	1,800,000
市町支出金 (ソフト事業分)		1,000,000	1,000,000	2,000,000	800,000
うち県交付金		500,000	500,000	1,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等		880,826	849,943	1,728,826	1,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光振興課観光・コンベンション担当	
担当者名	島田 雄二	
連絡先	電話	0284-20-2165
	FAX	0284-21-0643
	E-mail	kankou@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	あしかが「美」食まつり	
対象年度	2	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	1,000,000	
足利商工会議所負担金	200,000	
足利市農業協同組合	200,000	
協賛金	102,000	
繰越金	347,937	
雑収入	6	
計	1,849,943	

0

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
印刷製本費	1,304,710	1,000,000	500,000	304,710	パンフレット 50,000部、ポスター 100部、のぼり旗 40枚、スタンプカード3,000枚
委託料	250,000			250,000	ホームページ作成 SNS情報発信
通信運搬費	83,824			83,824	出展者募集通知、パンフレット発送
事務費	35,425			35,425	会議費、スタンプラリー用ゴム印、スタンプ台
広告宣伝費	30,400			30,400	スタンプラリー賞品、発送費
次年度繰越金	145,584			145,584	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	1,849,943	1,000,000	500,000	849,943	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合